

その手紙は
風の中をこだまして
いつかきつと届く。
あなたにも
わたしにも
そして、あの人も

「あの日から15年の手紙」をお送りください

6000人以上の被害者を出した阪神・淡路大震災から15年。あの日、もしくはあの日から今に至る日々を振り返って、手紙を書くとしたら、あなたは誰に何を綴りますか。会えなくなってしまったあの人へ、会えなくなってしまった自分へ、そして会ったこともないどこかの誰かへ…。あなたのことを手紙にして大阪市天王寺区にあるお寺・應典院までお送りください。ご応募いただいたお手紙は、應典院2F「気づきの広場」にて展示させていただきます。また会期終了後は、みなさんとともに表現を通じた参加型のあたらしい「供養」を考え、浄土宗の儀式に則り浄焚していただきます。（個人特定されないよう、展示の際には配慮させていただきます）

- 応募期間 1月31日まで
- 応募方法 封書にてお送りください。文字数、枚数は問いません。
差出人のお名前・ご住所は封筒裏面にお書きください。
- あて先 〒543-0076 大阪府大阪市天王寺区下寺町 1-1-27 應典院寺町倶楽部

写真 永田 淑 NAGATA, Osamu

COMMONS
FESTA

outen in
應典院寺町倶楽部

ことばくよう～死を悼み、生を誓う 4 つの物語

「学び、癒し、楽しみ」をコンセプトに、いまをいきるお寺のあり方を模索してきた應典院は、阪神・淡路大震災から 15 年を機に、あらためて「供養」という寺院と僧侶と市民にまつわる問題に取り組みます。さまざまな人から寄せられた生と死にまつわる手紙を題材に、供養とはなにか、想いを引き取るとはどういうことか、そしてそれらをとお寺が果たすべき役割について、言葉をあつかう 2 人のアーティストとともに考えていきます。

呼ぶ

ことばが

展示 「ことだまはこだまする」

震災 15 年を機に應典院によせられた手紙。その「引き取り方」をめぐり、単なる儀礼ではない「供養」の意味と有り様について問い直すインスタレーション展示。ガラスの向こうに見える墓地の風景としたためられた手紙の言葉が共鳴する空間で、哀悼と追善の思いを表しつつ、いのちをみつめます。

- 期間 1月16日(土)～31日(日) 10:00～20:00
- 構成 上田假奈代、岩淵拓郎

悼む

ことばで

募集 「あの日から 15 年の手紙」

あの日、もしくはあの日から今に至る日々を振り返って、手紙を書くとしたら、あなたは誰に何を綴りますか。あなたのことばを手紙にして封書にて應典院までお送りください。(※詳しくは裏面)

- 募集期間 1月31日(日)まで
- あて先 〒543-0076 大阪市天王寺区下寺町1-1-27 應典院寺町倶楽部

結ぶ

ことばを

ワークショップ 「詩の学校」スペシャル

自分自身と出会い、表現を学び、社会の関係をさぐる詩作と朗読のワークショップの特別編。「詩」はごんべんに「てら」と書き、「死」と同じく「し」と読みます。お寺で展示されることばに目を向け、今の時代と他者の思いに共鳴する「わたし」のことばを紡いでみませんか。

- 日時 1月20日(水) 19:00～21:00
- 進行 上田假奈代

誓う

ことばに

表現パフォーマンス 「浄焚の火に見えるもの」

手続きとしてではなく、共有体験としての「供養」を表現によって再構築する参加型パフォーマンス。言葉を見つめ、指で触れ、声にだすことで託された想いや消えゆくものの存在を確かめ、供養と誓願の意味を込めて焚きあげます。

- 日時 1月31日(日) 14:00～16:00
- 構成 上田假奈代、岩淵拓郎、山口洋典(浄土宗大蓮寺徒弟)
- 導師 秋田光彦(浄土宗大蓮寺住職)

参加アーティスト



上田假奈代 (詩人・詩業家)

1969 年生まれ。3 歳より詩作、17 歳から朗読をはじめ。92 年から障がいをもつ人や若者など幅広い対象への詩のワークショップを手がける。01 年「詩業家宣言」を行い全国で活動。03 年新世界フェスティバルゲートでコロシアムをたちあげ、仕事、自律、自治などをテーマにアートと社会の関わりをさぐる。NPO法人こえことばとこころの部屋(コロシアム)代表。カン！メディアセンターを運営。大阪市立大学都市研究プラザ研究員。

●サイト <http://www.kanayo-net.com> ●ブログ「日々。生きる現代文学」<http://booksarch.exblog.jp>



岩淵拓郎 (美術家/執筆・編集者)

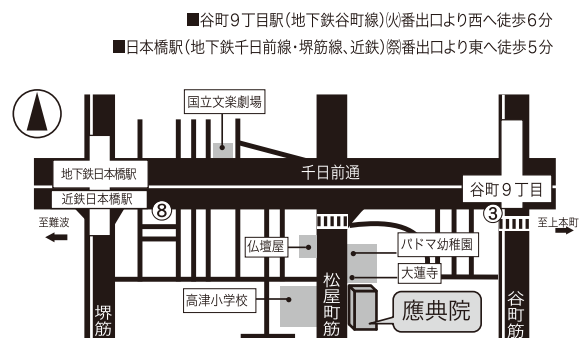
1973年生まれ。言葉とその意味をモチーフとした平面、立体、映像、マルチプルなど様々な形態の作品を発表。同時に雑誌・新聞などでの執筆と編集、ブログやポッドキャストなどパーソナルメディアによる情報発信の実験と実践を継続的に行なう。04年～、大阪市南森町のクリエイター自主運営のワークスペース「208」主催。アートNPO法人 芸術と計画会議(C.A.P.)メンバー。京造形芸術大学通信教育学部建築デザインコース非常勤講師。

●ブログ「日々嘉綴 総合」<http://www.mediapicnic.com/hibikate/>

2009年1月16日(土)～31日(日)
9:00～21:00

会場 浄土宗應典院
大阪市天王寺区下寺町1-1-27
tel.06-6771-7641 <http://www.outenin.com>

参加費 無料
企画 NPO法人コロシアム・メディアピクニック
主催 應典院寺町倶楽部



應典院とは●大蓮寺三世誓誓在慶の隠棲所として1614年に創建された大蓮寺の塔頭寺院です。1997年に再建される際、一般的な仏事ではなく、かつてお寺が持っていた地域の教育文化の振興に関する活動に特化した寺院として計画され、〈学び、癒し、楽しみ〉をコンセプトとした地域ネットワーク型寺院として生まれ変わりました。音響・照明施設を備えた円形型ホール仕様の本堂をはじめ、セミナールームや展示空間を備えており、演劇活動や講演会など様々な活動に用いられています。一般に開放された玄関ホールには芝居や講演会のチラシが置かれ、文化情報の発信および人々の交流の場として機能しています。また、應典院寺町倶楽部の拠点施設として、COMONSフェスタや寺子屋トークの舞台となっています。